



2021年5月14日

各 位

会 社 名 ジオマテック株式会社
代 表 者 代表取締役社長兼CEO 松崎 建太郎
(コード番号 6907)
問合せ先 取締役執行役員兼CFO 河野 淳
(TEL 045-222-5720)

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、2020年3月期まで2期連続で重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在していません。

このような状況を解消すべく当社グループは、特定市場への依存偏重から成長分野へ、また、受託加工専業から表面加工ソリューション業への事業領域拡張を図るとともに、経営体質のさらなる強化に取り組んで参りました。

主力のスマートフォン向けに加え、自動車向けにFPD用基板やその他製品の販売活動を積極的に実施したことや、表面加工ソリューションとして成膜加工に関する生産ラインの構築から技術指導までを請け負う取引を実現させたことにより、通期では未だ赤字であるものの2021年3月期の第3四半期連結会計期間(2020年10月～12月)から営業利益、経常利益を計上し、第4四半期連結会計期間(2021年1月～3月)ではすべての段階利益において利益を計上いたしました。2022年3月期についても依然として収益性は低い状況ではありますが黒字を予想しており、重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上する状況には至らないものと判断しております。

また、資金面については、2021年3月期末において、6,127百万円の現金及び現金同等物を有しており、当面の事業資金を確保していることから資金繰り上の懸念はありません。

これらの状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況は現時点において存在しないと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消しております。

株主、取引先をはじめとするステーク・ホルダーの皆様には、大変ご心配をおかけしておりますが、今後もさらなる業績及び企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上